

# あそびまつりだよりNo.12

2019.10.17

頌栄幼稚園

## ～年長組の活動～

### <こけても泣かないリレー (子どもたちが考えた名前です) >

遊び始めた時に、「先にバトンを渡したチームに1点入る」という遊びをしていました。今までは点数が基準で遊んでいた子どもたちでしたが、遊んでいくうちに「早くゴールしたら勝ち」という意識が出てきていました。10月4日のリハーサル。先にゴールしたのは白でしたが審判の結果は「赤の勝ち」。「どうして!?!」「白やで」「でも赤の方が14点で白は5点だったから」「だから赤の勝ちだよ」と言い合いに。リハーサル後日にみんなで話し合いました。

「早くゴールした方が勝ちがリレーなんだよ」「でもそれやったら白ばかり勝つやんか」(まだ1回も赤チームは勝っていないのです…。)  
「でも点数にしたら、赤ばかり勝つことになる」この一言がそうだなあと、意見が一致し、「リレーは点数が多くても、先にゴールをした方が勝ち」という事が共有できました。遊んでいくと、自分の思うようにはいかない、決まらない、望む結果が出ないこともたくさんあります。しかし、そこで面白くないと諦めるのではなく、どうすれば赤チームも勝てるかな、作戦を考えたらいいかもと踏ん張り、考え、楽しんでいく力を育てていきたいと思っています。どちらのチームも真剣に頑張る姿、負けても踏ん張る姿をお見守り下さい。



### <最高ラグビードッジ>

ラインパウダーで芝生の園庭にコート線の線を敷いたのですが、観客側からは見えませんでした。チョークや炭、テープなど子どもたちからも色々な意見が出ましたがどれも見えにくく、教師もロープを出そうかなと考えていました。するとA君が「ペットボトルは?」と思いつき、「色水のやつ!」「年中さんに借りてこよう!」とあつという間にペットボトルでコートが出来ました。当日も年中さんのペットボトルをお借りして遊びます。(実は、リハーサルの時に年中さんのペットボトルを使った遊びを見て「なにあれ」「すごいな!」と感動していたA君だったのでした。))



「遠くから見えるかな」「こっちはOK」  
「まん中組からも見える」確認中の子どもたち。



チームで製作。  
当日飾ります

### <玉入れ>

1つ余っていた玉入れの赤ゴール杯。遊んだ時に「赤も白もどちらも入れることができるようにしたい」と色を塗ることに。「半分にしたらわかる」とゴール杯の上部分は赤のままで下の棒を白色に塗りました。

プログラムの文字打ち。  
張り切って取り組んでいます。

